

みどり保育園

2023年 12月

ほけんだより

担当

暖冬とはいえ、寒くなってきましたね。12月は、クリスマス、御用納め、年末年始の準備など忙しい生活が続きます。人と会う機会も増えると思います。寒さの中、風邪やインフルエンザなどの病気が流行します。すでに今年9月よりインフルエンザが流行しています。**手洗い、うがい、上手なマスクの着用、手指の消毒、三密を避ける**などで、ウイルスや細菌を体の中に入れないように予防に心がけましょう。

11月のみどり保育園の子どもたちの健康状態

発熱 16名

咳 8名 気管支炎 1名 気管支喘息 1名

中耳炎 3名

感染性胃腸炎 2名

原因不明嘔吐 3名

とびひ 1名

鼻水 多数



免疫力を高める生活をしましょう

★バランスの良い食事～毎日の食事から栄養を取り免疫細胞増加

★睡眠、休息～血液循環を良くし、疲労回復

★適度な運動～免疫細胞の血中濃度を高め、免疫力が活性化

★適度な清潔～体の清潔、室内清掃で外敵を体内に入れない

★保温、保湿～体を温かくして免疫力アップ、保湿でガード

★前向きな気持ち～笑って免疫システムを活性化

IT産業の進歩によって、人と人との会話が減っているように感じます。子どもたちの会話や行動の中にも影響が及んでいます。子どもとの会話を大事にしてください。

子どもの感情、要求の表現、コミュニケーション行動を観察しましょう

子どもへの「ことばかけ」「話しかけ」は、子どもを大事にする気持ち、親子関係の表れでもあります。

子どもへの話し方のアドバイス

「いつ」話しかけたらいいか

- ① 世話をしながら話しかける
- ② 体を動かしながら話しかける
- ③ あいさつ
- ④ リズムをとりながら
- ⑤ 動作の始めと終わりをはっきりさせるような言葉かけ
- ⑥ 子どもの興味に合ったこと
子どもが注目しているものについて話す

「どんなふうに」話しかけたらいいか

- ① 届かせようとする気持ちで話しかける、本気で話しかける
- ② にこやかな話し方は有効
- ③ 名前を呼ぶときは歌うように、音を長く伸ばして
- ④ 子どもの気持ちをいったん口に出して言ってあげる
- ⑤ ダメダメという代わりの言い方を探す
- ⑥ わかりやすい話し方をする
- ⑦ ジェスチャーや実物など視覚を使うことを考える
- ⑧ 体にタッチするなどして注意喚起してから話す
- ⑨ 子どもの行動を言葉にしていってあげる
- ⑩ 子どもの出す音を繰り返す、言葉を少しだけ付け加える

「HOME : 家」

それは人によって全く違う

それは家であり 街であり 国でもある

家とは 自分が守りたいなにか

人は家を守るためなら、どんな困難もいとわない

人は自分の家を愛する
もし 家がないと感じれば
それを見つけるためにどんな危険だっておかす
家から離れて自分自身を見つめること
それは見つめることものの距離の問題だ
この 50 年で宇宙に行ったほぼすべての宇宙飛行士が
同じ考えに至っている。この地球全体が家なのだ と

アレクセイ・レオノール

地球は小さく 青く光り そしてもものすごく孤独だ
私たちの家は、尊い遺産のように守らなければならない

フランク・ボーマン

月面に到着して地球を見つめる
すべての違いや国の特徴なんて全部おなじに見える
みんなこう思うだろう
地球はたった一つの世界なのだ
なぜ私たちは慎み深くともに暮らせないのだろうか？

スルタン・ビン・サルマン・アル・サ우드

最初の 2 日 宇宙からみな自分の国を指さした
3~4 日経つと、自分達の大陸を指さした
5 日目には
みんな地球は一つなのだ気づいた

ニコール・ストット

私たちは地球とつながっている
そう ここが私たちの家
どこに暮らそうと
どんな言葉を使おうと、何を食べようと
地球は私たちの家

私たちはこの地球を大切にしなければならない
そこで皆が生きていると分かなければいけない
それこそが私たちのゴール
だから私たちにはゴールが必要なのだ

グローバル・ゴールズを皆に伝えよう
グローバル・シチズンになろう

「国連 HOME 家」で検索していただくと動画が閲覧できます

